

平成30年7月17日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国  
葦山営農センター

### 第3回 (7/17号)

## 水稻病虫害発生予察の結果について

#### ①生育状況

平坦地のどの地区でも概ね 20 本程度の茎数が確認されています。長岡の一部と大仁地区では、中干し～中干し終了している圃場が確認出来ました。

山間地では、幼穂形成期に入っていました。田原野地区、浮橋地区ともに早い圃場では週末から来週にかけて出穂が見えてくると思われます。

#### ②害虫状況

どの地区でもウンカの幼虫が見られ始めましたが、被害が出るほどの発生はありませんでしたので、今後の発生動向に注意して、必要に応じて薬剤散布等の対応をお願いします。

山間地では、出穂が始まるとカメムシが圃場に侵入してきます。カメムシは畦畔の雑草から圃場内に侵入しますので、出穂前に畦畔の除草を行うと効果的です。

#### ③その他

いくつかの圃場で、ヒエ・オモダカ・クログワイ等の雑草の発生が確認されました。除草剤の散布を検討中の方は、ご自身の圃場で発生している雑草の草丈等を確認のうえ、除草剤を選択下さい。

#### ④資材紹介

##### 【除草剤】

- **アクシズMX 1kg/10a** 移植後7日～収穫45日前まで 本剤1回  
ノビエは4葉期まで、イグサの系統は草丈10cm程度まで効果あり。  
散布後は、湛水状態で3～4日は、その状態を保つように心掛ける。
  - **バサグラン粒剤 3～4kg/10a** 定植後15～55日（収穫60日前まで） 本剤1回  
足跡に水が残る位まで、水を抜いてから散布。  
散布後も3日は水を入れず、雨が降らない日を狙う。
- ※除草剤の種類に関わらず、散布後7日間は、落水をしないで下さい。

##### 【肥料】

- **ケイ酸加里 20kg/10a** 倒伏防止、食味向上。  
※ おおよそ、穂が出る1ヶ月半前に散布。（葦山は7月中旬頃）

問い合わせ：葦山営農センター 片山・西島 055-949-0055